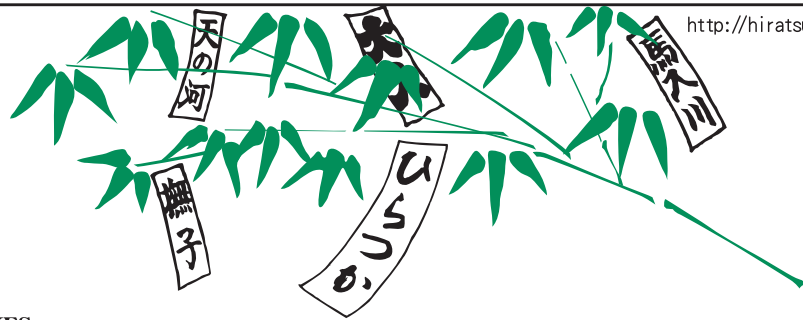




2013～2014年度 国際ロータリーテーマ  
**ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES**  
 「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」



<http://hiratsuka-rotary.jp>

# HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 牧野國雄 ● 副会長 常盤卓嗣 ● 幹事 清水 裕 ● 会報委員長 青山紀美代 (2013～2014年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## 第2920回例会 2013年11月21日 グランドホテル神奈中 週報第2920号

### 本日の卓話者ご紹介

(株)オリエンタルランド 元副社長  
 柴 洋二郎 様



### 卓話者プロフィール

しば ようじろう  
 柴 洋二郎 様

平塚市生まれ (清水孝一プログラム委員長と同級生)

#### 学 歴

富士見小学校～春日野中学校～湘南高校を経て北海道大学経済学部卒業

#### 職 歴

株式会社日本興業銀行 メディア・情報通信営業部長  
 株式会社みずほコーポレート銀行 執行役員本店営業第十部長  
 株式会社みずほ銀行 常務執行役員  
 株式会社オリエンタルランド  
 同 代表取締役副社長執行役員  
 同 取締役  
 新日鉄興和不動産株式会社 常勤監査役  
 などを歴任されております。

### 卓 話

柴氏には、テーマパークを支える従業員のあり方、教育を中心にお話をして頂きました。お話の概略を以下報告します。

テーマパークは、「青空を舞台とした劇場」である。従業員は、演者として自身が嬉しい、楽しいという気持ちを持たねばお客に愉しんでもらうことは出来ない。こうした従業員の幸福感とお客の幸福感が循環することが多くのお客に来園して貰う根幹である。

そのために人材教育を徹底する。従業員は、存在意義を求め、認められたい、成長機会としたい、創造性を発揮したいという意欲を持っている。この意欲に応える為に経営サイドは数々の仕組みを講じ、従業員の幸福感を高める。

同氏は地元平塚市出身で、履歴のとおり広範囲な活動領域のもと、常に第一線で活躍された方で、そのお話は我々の経営に普遍的に通じるもので奥深く、あっと言う間に時間が過ぎました。愉しく有意義な卓話ありがとうございました。

プログラム委員長 清水孝一 会員

### <委員会報告>

- クラブ研修委員会 委員長 升水一義 会員

情報集会グループ 各位

会 長 牧野國雄  
 クラブ研修委員会

### 平塚ロータリークラブ情報集会 テーマについて

テーマ 「会員増強についてあなたはどのように思いますか」  
 一人でも多くのよりよい仲間を増やすには!!

会員各位には日頃より平塚ロータリークラブの活動に對しましてご協力を頂き誠に有り難うございます。皆様方のお陰をもちまして、「七夕まつり」「花火大会」「よい音楽に親しむ会」「地区大会の参加」「公式訪問」等事業も順調に推移しております。

さて、いよいよ上半期情報集会の開催時期がやってきました。情報集会はクラブ会員の情報伝達のひとつと

### <出席報告>

本 日11月21日	会員数 62名	対象者 57名	出席者 41(37)名	出席率 67.21%			
前回11月 7日	会員数 62名	対象者 57名	出席者 43(39)名	出席率 70.49%	MUP 2名	計 45名	修正率 73.77%

して、テーマに沿って参加者全員で活発な意見交換をする場であり、その意見を今後の活動の指針とするものがあります。

本年度上半期のテーマは「会員増強についてあなたはごどう思いますか」（一人でも多くのよりよい仲間を増やすには!!）です。会員増強はロータリーの永遠のテーマの一つであり、大切なことでもあります。友情を深め、会員相互による自己改善を図り、地域社会での意義ある奉仕活動を行うために、会員増強が不可欠であります。歴史と伝統ある平塚ロータリークラブがロータリーのリーダーとしてあるために、よりよい仲間をクラブに迎える事を全員で考えましょう。

参加者全員の発言をお願いします。そして大いに懇親を深めて下さい。

### <幹事報告>

#### ◎台風被災地伊豆大島・フィリピンへの援助協力依頼

10・11月の台風により大きな被害を受けた2つの被災地に対し、地区として支援することが決まりました。クラブ内では皆様の募金をつのり地区へ送りたいと思います。御協力をよろしくお願い申し上げます。

#### ◎「第6回新会員の集い」開催のご案内

開催日：2014年2月14（金）～15（土）1泊2日

場所：箱根ホテル小涌園

会費：10,000円

対象：2013年6月30日以前の入会（R歴3年未満の方々）

\*当クラブでは18名が対象者（11/19メールで送信済み）

締切：12/26（木）例会時までに事務局へ

\*同時にお送りしました対象会員アンケートは、出欠に関係なく、ご提出をお願いいたします。

#### ◎IA海外研修について

今年度も当クラブ提唱一平塚学園高等学校から研修に2名参加されます。

日時：12/26（木）～29（日）

研修地：台北

費用：184,400円（アクター・提唱クラブ負担込み）

\*提唱クラブ負担分は、当クラブが年初にお渡ししている、IAクラブ活動支援金（会員に1人当たり2,000円×63名）から支払われます。

### <メイクアップ>

2名  
清水 裕、清水雅広会員

### <本日のスマイル>

14名

### <ゲスト>

1名  
柴 洋二郎様（卓話者）

### <卓話・行事予定>

- 12月 5日（木）クラブ年次総会  
12日（木）上期情報集会  
19日（木）クリスマス家族会  
例会 17:30～18:00  
家族会 18:00～20:00  
場所 グランドホテル神奈中 例会場
- 1月 3日（木）休会  
9日（木）夜間例会 ニューイヤーコンサート  
時間 18:00～20:00  
場所 グランドホテル神奈中 例会場

### <市内例会変更>

現在ございません。

## 『ロータリーの友』

『ロータリーの友』は日本におけるロータリーの機関誌です。

『ロータリーの友』は、国際ロータリー（RI）の認可を受け、ロータリー・ワールド・マガジン・プレス（『THE ROTARIAN』とロータリー地域雑誌の総称）の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です。地域雑誌としての『友』は、ロータリアンがロータリー・ライフを深めるためにも、またクラブがRIと直結しているという認識のためにも必要な媒体である、ということをご理解いただきたいと思います。

2013年規定審議会で、ロータリー地域雑誌について、会員は印刷媒体と電子媒体のいずれかを選択して講読することができるようになりました。それを受けて、ロータリーの友委員会ならびに一般社団法人ロータリーの友事務所では、2014年1月号から電子版の『ロータリーの友』を発行することになりました。

『友』が「おもしろい」「おもしろくない」という発言の中には、ロータリーの雑誌として『友』が願っていることとは違う部分で議論されている傾向があります。ロータリーの友委員会の願いは、ロータリアン一人ひとりのためのロータリーについての広がりや深まりのための、いわばロータリー活動の視点からのおもしろさの有無です。それ故に、ゴシップを扱ったり、マンガを多用したり、歴史小説を連載することに『友』はくみしません。例えば歴史小説の連載がないから『友』は読まれない、のでしょうか。おそらく多くのロータリアンは否定されることなのでしょう。連載小説を掲載し、その部分が読まれたからといって、『友』の存在理由があるとはいえません。あくまで「ロータリアンとしてどうか」「おもしろい」や「おもしろくない」の議論より優先させた判断となるべきことで、各人の興味を満足させることが、この機関誌の発行目的ではありません。